



三越伊勢丹ホールディングス

報道関係資料

2017年1月1日（日）  
株式会社三越伊勢丹ホールディングス

# this is japan.

～三越伊勢丹グループ企業メッセージ this is japan.～  
2017年のメッセージは『基本に磨かれて、信頼でかがやく。』

大切なことはいつも変わらない。

this is japan.

株式会社三越伊勢丹ホールディングス（東京都新宿区 代表取締役社長執行役員 大西 洋）は、企業活動の方向性をより明確に示す言葉として、一昨年より開始した企業メッセージ「this is japan.」を、2017年も継続し、さらに発信を強化してまいります。

## 1. 「this is japan.」とは？

三越伊勢丹グループでは、「JAPAN SENSES」と題し、2011年より日本の伝統・文化・美意識が作り出す価値を再認識し、新しい価値としてお客さまにご提供する取り組みを推進してきました。そして2015年より、この取り組みをさらに深化させた企業メッセージ「this is japan.」を新たに掲げ、品揃えはもちろん、お客さまをもてなしする心づかい、立居振舞いも含め、日本の四季で育まれた五感を生かし企業活動に磨きをかけております。三越伊勢丹グループすべての企業活動は、この言葉と向きあって日々作り上げられています。

## 2. 今年の「this is japan.」のテーマ

2017年、私たちは「基本を大切にしながら、未来に向かっていく勇氣」をテーマに、「this is japan.」を発信してまいります。

今年のメッセージは

**基本に磨かれて、信頼でかがやく。**

**大切なことはいつも変わらない。**

**this is japan.**

2017年のthis is japan.を象徴する人として、私たちが選んだのが、海外で活躍するバレエ・ダンサー、オニール・八菜氏です。

日本生まれの八菜氏は、海外に移り住んでからも、その感性を活かしてバレエの研鑽を続け、夢であったパリ・オペラ座に入団を果たし活躍しています。その生き方は、まさに私たちが目指すべき「this is japan.」に共鳴しています。



※ダンサー：オニール・八菜 ※振付家：ピエール・ラコット

### 3. 「this is japan.」のメインビジュアルについて

表現のテーマは、「未来の季節」。世界的に著名な振付家ピエール・ラコット氏と注目のダンサー、オニール・八菜氏によるセッションで、未来と夢に向かって進んでいく勇気を表現しました。ラコット氏の振り付けに息吹を吹き込まれた八菜氏のダンスが発するエネルギーを目の当たりにして、まさに2人の磨き上げられた基本が、信頼によりさらに昇華することを知りました。基本と信頼が織りなす世界観を、私たちは目指します。

◇スペシャルサイト <http://this-is-japan.jp/>

- ・1月1日より、振付家ピエール・ラコット氏とオニール・八菜氏のインタビュー動画がご覧になれます。
- ・2月以降は、一年を24の季節に分け日本の季節のうつろいを繊細に表す二十四節気を、それぞれのイメージに合わせた24の踊りで表現していただきました。2月4日(土)以降、時候の挨拶として、ご紹介していきます。

#### ★ダンサー:オニール・八菜

1993年生まれ。東京出身。父はニュージーランド人、母は日本人。日本に住んでいた3歳からバレエを始め、2001年ニュージーランドに移住後もバレエを続け、2008年オーストラリアンバレエスクールに入学。数多くのコンクールで優勝し主席で卒業後、パリ・オペラ座のシーズン契約を経て2013年に正団員に。2016年にプルミエダンスーズとなる。同年5月、23歳にしてバレエ界のアカデミー賞ともいわれる「ブノワ賞」を受賞。

#### ★振付家:ピエール・ラコット

1932年生まれ。振付家。ダンサーを経て1951年より振付家として活躍。ロマンティック・バレエの復活に多大な貢献を果たす。21世紀における世界的に著名な振付家のひとりと称される。妻は著名な元バレエ・ダンサー、ギレーヌ・テスマー。

### 4. 「this is japan.」の取組や発信を引き続き強化してまいります

当社グループは、引き続き、企業メッセージ「this is japan.」を元に、商品はもとより販売サービスに至るまで、世界に通じる日本の良さをグループを挙げて、取組や情報発信を強化してまいります。

具体的には、営業施策として「JAPAN SENSES」を年4回、商品だけでなくコトにもフォーカスし、文化・暮らし向きをからめた提案を強化し、三越伊勢丹グループが一丸となって取組むグループキャンペーンに拡大し展開していきます。1月2日(火・祝)～10日(火)※開催する2017年最初の「JAPAN SENSES」では、「日本のかたち」～優しいにほんのいろいろ～をテーマに、笑顔であたたかな年を迎えられる「柔のちから」(にこのちから)にフォーカスし、“縁起物”をキーワードにしたイベントや、CSV(Creating Shared Value)=共通価値の創造の取組として、他企業とコラボレーションし、地域活性化貢献につながるイベント展開、古くからある日本の柄や形、香りや織り等をクローズアップし、日本文化の多様性と奥深さを幅広くご提案し、日本の良さを新たな価値として国内外に発信していきます。

※各店舗により展開会期が異なります

また、年間を通じて、日本の優れたモノづくりをベースとした独自企画商品も拡充しております。このほか、品揃え、環境、おもてなしにおいて、各施策の提案や情報発信を強化してまいります。三越伊勢丹グループの「this is japan.」にどうぞ、ご期待ください。

## ■「this is japan.」の打ち出し方について

「this is japan.」については、以下のように発信する予定です。

### 【発信手段(媒体)】

- 三越伊勢丹グループ各店店内でのポスター掲示(海外店舗含む) 及び店内放送
- 伊勢丹新宿本店・三越銀座店にて外装懸垂幕掲示 三越日本橋本店にて看板掲示
- 主要新聞各紙 (朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・産経新聞・日本経済新聞・織研新聞)  
1月1日(日)付朝刊への全面広告掲載
- 「this is japan.」スペシャルサイト (<http://this-is-japan.jp/>)

三越伊勢丹ホールディングス(<http://www.imhds.co.jp>)、

三越(<http://www.mitsukoshi.co.jp>)、伊勢丹(<http://www.isetan.co.jp>) 各HPのトップ画面に掲示。

実際の「this is japan.」のビジュアルについては、ぜひ2017年1月1日(日)に上記の媒体でご確認ください。